

箱庭

×

おく

平成記念美術館ギャラリー第100回 企画記念展
「藝術の模索 - 東京藝術大学 平成藝術賞 受賞作家8人の現在」
ワークショップイベント

2025.10.17 fri — 10.18 sat 13:00-15:00 / 15:00-17:00

平成記念美術館ギャラリー 地下1階大会議室

参加費：2000円 / 鑑賞のみ：入場無料、出入自由

企画：諸岡亜侑未（箱庭プロジェクト） / 藤中康輝（Oku Project） ゲスト：清水将吾（哲学博士）

箱庭
プロジェクト
おく
Oku Project

箱庭 × おく

心理療法でも使われる「箱庭」では、内側が青い木箱の中に、砂と玩具やオブジェを入れて箱庭を作ります。人や動物、木、家、車、飛行機など、人形やフィギュアがよく用いられ、具体的なモチーフを模った物が使われることから、物語性を帯びて見えることが特徴です。

一方、芸術実践である「おく」は、身の回りのあらゆる物を置くことで作品を作ります。お皿やビン、定規、紐、クリップなどの日用品が、複数の制作者によって再解釈され、意味や機能の不確かな正体不明な物々として現れます。

「箱庭」と「おく」は決められた場に物を置くという点でよく似ていますが、その特性は異なります。モチーフの意味によって物語性が強く現れる「箱庭」と、複数人が関わることで物と意味のつながりを不安定にする「おく」。

このワークショップでは「箱庭」と「おく」を連続して体験し、物体と物語のせめぎあいの中で、行為の類似を手がかりに、価値観の境界をゆらしながら考えを巡らせていきます。期間中はアーティストの諸岡亜侑未と藤中康輝（Oku Project）のほか、哲学者の清水将吾さんが在廊し、対話を通して思考と体験の充実を目指します。

企画…諸岡亜侑未（箱庭プロジェクト）

藤中康輝（Oku Project）

ゲスト…清水将吾（哲学博士）

お問い合わせ：morooka.aym@gmail.com

開催日程

2025年 10月17日 13:00 - 15:00 / 15:00 - 17:00
10月18日 13:00 - 15:00 / 15:00 - 17:00

ワークショップに参加する



参加費：1人2000円 / 時間：1回2時間程（要予約）
ワークショップに参加される場合はWEBサイト（QR参照）にてイベント詳細をご確認いただいた上、お申し込みをお願いいたします。

ワークショップを鑑賞する

入場無料・予約不要 イベント開催中は自由に出入りできます。

会場

〒156-0053 東京都世田谷区桜3-25-4 平成記念美術館ギャラリー 地下1階大会議室
*地下1階まではエレベーターがございません。階段のみとなりますことをご了承ください。

箱庭プロジェクト

心理療法の一手段として使われる「箱庭」を借用し、様々な人と多様な方法で箱庭を制作しながら、表現するという行為について、またそこに伴う心理的な過程を探っていくプロジェクト。諸岡亜侑未主催。

おく

“2人以上の人が交互にものを置く”ことで作品を作る実践。既製品彫刻の共作や即興演劇、ボードゲームのようにも見えるこの実践は、ルールによって環境や物や行為から意味を引き出す試みを誘発し、同時に機能不全を起こすことで、思いがけない作品を立ち上げることを目指している。クリエイティブユニットOku Projectによって2017年に開始。

清水将吾

哲学博士。多摩美術大学リベラルアーツセンター准教授。哲学を研究しながら、対話の活動も行っている。著書に、『左右を哲学する』（2024年）、『大いなる夜の物語』（2020年）がある（ともに、ぶねうま舎）。